

# 平成 26 年度 第 2 回 川西町地域公共交通会議

## 議 事 要 旨

日 時 : 平成 26 年 12 月 25 日 (木)

10:00~

場 所 : 川西町役場 2 階 202 会議室

出席者 : 森田政美委員長、上原大洋副委員長

下間章兆委員、松本雅司委員

福嶋博委員 (代理: 西川裕子)、川邊経恭委員 (代理: 中谷宗孝)

吾妻孝義委員、西本光良委員、大西秀樹委員 (代理: 橋義之)

吉村伸泰委員、南岡進委員、吉村真知子委員、

山本勝委員 (代理: 伊藤徳男、稲留健一郎)

村上強志委員 (代理: 曾田和弘)、増田哲司委員、多山元章委員 (代理: 山西雅志)

### <議事次第>

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議題

(1) 前回会議の議事録確認

(2) 川西町コミュニティバス利用状況について

(3) 川西町コミュニティバスの利用者アンケート結果について

(4) 今年度の取組施策における評価 (中間報告)

(5) その他

4. 閉会

### <配布資料>

・ 次第、配席図、委員名簿

・ 資料-1 平成 26 年度第 1 回川西町地域公共交通会議議事要旨 (案)

・ 資料-2 「川西こすもす号」利用状況 (平成 26 年 11 月現在)

・ 資料-3 「川西こすもす号」バス利用者ヒアリング調査結果

・ 資料-4 『川西町地域公共交通計画』に基づく平成 26 年度の取組施策の評価 (中間報告)

・ 資料-4 別紙 基本方針に対する施策

・ 資料-5 川西町地域公共交通会議 平成 26 年度スケジュール (案)

## <議事要旨>

### ○議題1：前回会議の議事録確認

(事務局から、資料-1 について説明)

曾田委員：議事要旨 P.3 の「増田委員」の発言は、「曾田委員」の間違いである。訂正してほしい。

森田委員長：他に意見が無ければ、議事内容については、承認する。

### ○議題2：川西町コミュニティバス利用状況について

### ○議題3：川西町コミュニティバスの利用者アンケート結果について

### ○議題4：今年度の取組施策における評価（中間報告）

(事務局から、資料-2、3、4 について説明)

上原副委員長：利用者アンケートの料金の妥当性についての結果のグラフであるが、「未記入」の割合が含まれていることから、「妥当」「安い」と回答された方の割合が小さく表現されている。「未記入」の人を抜いた割合でいくと、多くの人から受け入れられていると思う。

事務局：ご指摘の通りである。資料は修正させて頂く。

伊藤委員：今年度における周知方法について教えてほしい。おくやまの広告やポスターを貼ったり、割引などの特典等については実施されたか。

事務局：おくやまとは、現在調整を進めている状況である。広報については、今年度は特別運行の周知に力を入れてきた。防災無線での案内やHPへの掲載などである。特に新たな取組に関して、広報を実施していきたい。来年度は、無料運行日を設けることを検討しており、広報を通じて新たな利用者の確保を目指していきたいと考えている。

伊藤委員：利用者アンケートの結果の中に「バス停に屋根をつけてほしい」という意見があるが、例えば、おくやまでバスの出発時間などを館内放送することなどにより、バスを待たずに買い物ができるということもある。

吉村委員：結崎駅に役場行きの時刻表が貼ってあるが、全体の時刻表を貼ってはどうか。駅からバスを利用する人は、次のバス停まで行かないと時刻表が分からない。また、高齢者にとって、この時刻表は非常に分かりづらいものとなっている。色使いの工夫も必要である。

下間委員：町の事業に合わせたダイヤの検討をしてほしい。ボランティア活動や、保健センターなどでの行事にダイヤをあわせることで、利便性の向上につながる。町各課へのヒアリングもしてほしい。

森田委員長：町の事業をバスの時刻に合わせて実施するという事も考えられる。

南岡委員：おくやまでの利用が多いということは、買い物での利用が多いということである。土日の運行を検討してほしい。

事務局：土日運行については、今年度はイベントなどの開催に合わせて特別運行を実施した。また、選挙日も運行を行った。現状は、周知が進んでいないこともあり、通常日より利用者が少ない状況である。土日運行は検討していく必要があるが、まずは平日運行を継続していきたいと考えている。土日運行の要望が今より多くなれば、段階的に増やしていくことを考えたい。

曾田委員：結崎駅での利用が少ないと感じる。交通結節点での利用という観点での検証をしてほしい。また、運行に関する評価指標は1便当たりの利用者数だけか。

事務局：1人当たりの運行経費2,300円という指標もあるが、年度途中ということもあり、今は利用者数を取り上げている。

曾田委員：多角的な指標で評価してほしい。

上原副委員長：利用者の年齢構成を見ると、高齢者がほとんどである。このバスの利用者のターゲットを絞る観点からすると、町民全体へのサービスを提供するというのには無理があると感じる。交通弱者（高齢者）にターゲットに絞ってやっていくことが必要である。曾田委員から「駅での利用が少ない」という意見があったが、例えば1時間以上バスが来なければ、家族に迎えに来てもらう、あるいはタクシーを利用するという別の手段が必要となる。1時間に1本というダイヤが実現できないだろうか。

事務局：現在は高齢者にターゲットを絞って運行している。駅での利用が少ないことを見ても、買い物目的で利用されている。ルート・便数変更後、吐田線での利用者落ち込みが、全体の利用者数の数字に影響している。便数を増やせばいいのだが、もう少しこのルート・ダイヤで様子を見て行きたいと考えている。

南岡委員：今後、ダイヤ・ルートの変更を検討するとのことであるが、東方西口の停留所は必ず残してほしい。大切な足である。

森田委員長：バスでの広告を募集していると聞いているが、応募を待っているだけではなく、積極的に「営業」してはどうか。1社が載せれば、他の会社への周知にもなる。こすもす号に広告が載せられるということの周知にも繋がる。

吉村委員：商工会でも是非協力をさせてほしい。

事務局：商工会と連携して、今後実施していきたい。

伊藤委員：高齢者の利用がほとんどであるが、子供の利用はないのか。小さい頃からバスに乗るといっても、公共交通利用の促進策の一つとなると考える。

事務局：夏休みなどでは、子供の利用もある。

○議題5：今後のスケジュールについて  
（事務局から、資料-5について説明）

森田委員長：多忙な時期でもあるので、開催案内は早めをお願いしたい。

○閉会

以上